



Electrical Engineering in Japan / Electronics and Communications in Japan

よくあるお問い合わせ

Q1：John Wiley & Sons 社から論文の翻訳に関する連絡があるのはなぜですか？

A1：John Wiley & Sons 社（アメリカ）は、長年にわたり、電気学会との契約により、電気学会論文誌に掲載された日本語論文の一部を翻訳して出版しており、翻訳論文は、“Electrical Engineering in Japan” 誌と “Electronics and Communications in Japan” 誌の 2 誌に分けて出版されます。

“Electrical Engineering in Japan” 誌は、電力産業（発電、供給と貯蔵、電力工学、電力経済、磁気流体力学、再生可能エネルギー）、電機、電磁理論と基礎、制御理論と応用、産業応用、ロボット工学および関連分野を扱います。

一方の “Electronics and Communications in Japan” 誌は、通信とネットワーク、集積回路、光電子工学、固体素子材料、センサ、情報処理、インターネット、画像解析、生理学および神経生理学研究、生物医学的応用などの分野が中心となっています。

上記 2 種類の翻訳誌は、見た目は表紙の色が異なるだけで、どちらの翻訳誌にも、電気学会論文誌に掲載された論文の翻訳であることが表紙裏ページに英文で記載されています。

Q2：論文の翻訳に関する連絡はどのように行われますか。

A2：John Wiley & Sons 社から著者に、メールで連絡があり、翻訳、出版までの進行状況については、John Wiley & Sons 社の web システム “Wiley Author Services” で確認いただけるといった案内がございます。

Q3：翻訳誌はどのような形態で出版されますか。

A3：翻訳誌 2 誌は、どちらも冊子体（従来の紙の印刷による形態）と、<http://onlinelibrary.wiley.com/> に掲載される電子ジャーナル版の二つの形態で出版されます。

Q4 : John Wiley & Sons 社 による翻訳や、翻訳誌に論文を出版するために費用はかかりますか。

A4 : 翻訳は John Wiley & Sons 社が行います。その翻訳料金や、翻訳誌に論文を掲載するための費用は著者には、一切請求されません。

Q5 : 翻訳論文の著作権は誰のものですか。

A5 : 電気学会論文誌に掲載された日本語論文の著作権を、電気学会に譲渡していただいたのと同様に、翻訳された論文の著作権は、John Wiley & Sons 社に譲渡していただきます。著者は、他の著作物やプレゼンテーションで翻訳された論文の一部（文字/画像/図表）を使用する権利を保持します。